

---

# 株式会社フィスコ

---

## 2009年12月期 第2四半期決算短信補足説明資料

2009年8月6日

---

## 当第2四半期累計期間の主な取組み

1. **アウトソーシングサービスは堅調に推移(前年同期比21.8%増)**
2. **フィスコモバイルは新規プロモーション実施により、売上増加傾向  
(有料会員数1,000人超え)**
3. **シグマ社を当社所在地に移転し、経費削減を実施(2009年6月)**  
移転により経費削減を行うと共に、当社と同所在地に移転することで営業面におけるグループシナジーの最大化を追求
4. **新情報配信システムの構築に着手(2009年12月稼動予定)**  
執筆担当者の配信時における作業負荷を軽減し、サービスの質と量を向上

## 連結損益計算書 主要項目(前年同期比)

(單位:百万円)

	2009年第2四半期 対売上比		2008年第2四半期 対売上比		増減	増減率
	金額	対売上比	金額	対売上比		
売上高	537	-	651	-	△114	-17.5%
売上原価	189	35.2%	246	37.8%	△57	-23.1%
売上総利益	348	64.8%	405	62.2%	△57	-14.1%
販売管理費	348	64.8%	525	80.7%	△177	-33.8%
営業利益	0	0.0%	△120	-18.5%	120	-
経常利益	△6	-1.3%	△150	-23.1%	143	-
当期純利益	△16	-3.1%	△368	-56.5%	351	-

# 連結損益計算書 主要項目増減要因(前年同期比)

## 1. セグメント別収益増減要因

① 情報サービス事業  $\Delta 64$ 百万円(前年同期比:  $\Delta 12.9\%$ )

<主な増収要因>

i. アウトソーシング  $+20$ 百万円(+21.8%)

・先物/オプション、為替関連情報の受託。市況回復時に新規顧客獲得。

ii. 携帯向け「フィスコ モバイル」  $+4$ 百万円(+278.8%)

・昨年7月よりサービス提供開始。有料会員数が増加。

<主な減収要因>

i. リアルタイムサービス  $\Delta 44$ 百万円(-15.8%)

・提供先である金融機関のコスト削減、散発的な解約が発生。

ii. クラブフィスコ(LaQoo+含む)  $\Delta 36$ 百万円(-45.5%)

・昨年来続く市況悪化、新規公開企業(IPO)数の減少により、個人投資家の投資意欲の委縮が継続。

iii. ポータルサービス  $\Delta 4$ 百万円(-23.3%)

・Yahoo! 向けサービスの料金テーブル契約改訂。

## 連結損益計算書 主要項目増減要因(前年同期比)

### ② コンサルティング事業 $\Delta 52$ 百万円 (前年同期比 $\Delta 76.8\%$ )

#### <主な増減要因>

- i. 連結除外2社(旧TAKMA社、RP社)  $\Delta 55$ 百万円 (－)
  - ・前連結会計年度において連結から除外。現在、RP社は持分法適用関連会社。
- ii. 「RASHINBAN(金融情報誌)」  $+4$ 百万円 (－)
  - ・昨年5月にサービス提供開始。継続拡大に向けて営業推進中。

### ③ 教育事業 $+3$ 百万円 (前年同期比: $+3.9\%$ )

#### <主な増減要因>

- i. シグマベイスキャピタル社  $+6$ 百万円 ( $+8.3\%$ )
  - ・継続的な顧客を中心に専門科、通信教育は堅調に推移。
  - ・外資系投資銀行等の採用抑制により、先行きは不透明。
- ii. 社内教育研修・セミナー(フィスコ)  $\Delta 3$ 百万円 ( $-76.0\%$ )
  - ・金融機関における社員教育のコスト削減から受注減少。

## 連結損益計算書 主要項目増減要因(前年同期比)

### 2. 主な増益要因〈営業損益ベース〉

① 売上原価の減少  $\Delta 57$ 百万円(前年同期比 $-23.1\%$ )

i. 連結子会社2社除外による影響  $\Delta 56$ 百万円

② 販売管理費の減少  $\Delta 177$ 百万円(前期比 $-33.8\%$ )

i. 連結子会社2社除外による影響  $\Delta 96$ 百万円

ii. 前期減損実施による償却負担減少  $\Delta 29$ 百万円

iii. 2社(フィスコ/フィスコプレイス社)の合理化による経費削減  $\Delta 27$ 百万円

・人件費の抑制  $\Delta 13$ 百万円

・ECサイトを中心としたシステム維持費の削減  $\Delta 10$ 百万円

## 連結損益計算書 主要項目増減要因

### 3. 特別損益に関する概要

(1) 特別利益の計上	12百万円
i. シグマ社の持分変動に係る利益	8百万円
ii. シグマ社の保有有価証券売却益	2百万円
iii. フィスコ コモディティー株式の売却益	1百万円
(2) 特別損失の計上	21百万円
i. シグマ社保有の有価証券評価減	7百万円
ii. フィスコ/シグマ社の保有有価証券売却損	7百万円
iii. シグマ社移転における現状復帰費用	5百万円
iv. シグマ社移転等に係る固定資産の除却損	2百万円

## 連結貸借対照書 主要項目(前期末比)

科目	当第2四半期末 2009年6月30日		前期末 2008年12月31日		増減
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	
<b>(資産の部)</b>					
流動資産	567	66.0%	528	61.1%	39
固定資産	292	34.0%	336	38.9%	△ 43
1. 有形固定資産	47	5.5%	48	5.6%	△ 0
2. 無形固定資産(ソフト等)	21	2.5%	18	2.1%	3
3. 投資その他の資産	223	26.0%	269	31.2%	△ 46
繰延資産	0	0.0%	0	0.0%	△ 0
<b>資産合計</b>	<b>860</b>	<b>100.0%</b>	<b>864</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 4</b>
<b>(負債の部)</b>					
流動負債	181	21.1%	213	24.7%	△ 31
固定負債	219	25.5%	186	21.6%	33
<b>負債合計</b>	<b>401</b>	<b>46.6%</b>	<b>399</b>	<b>46.2%</b>	<b>1</b>
<b>(純資産の部)</b>					
資本金	748	86.9%	748	86.5%	0
資本剰余金	402	46.8%	402	46.6%	0
利益剰余金	△ 643	△ 74.8%	△ 626	△ 72.4%	△ 16
自己株式	△ 43	△ 5.0%	△ 43	△ 5.0%	0
評価・換算差額等	△ 5	△ 0.6%	△ 16	△ 1.9%	10
少数株主持分	0	0.0%	0	0.0%	0
<b>純資産合計</b>	<b>459</b>	<b>53.4%</b>	<b>465</b>	<b>53.8%</b>	<b>△ 6</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>860</b>	<b>100.0%</b>	<b>864</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 4</b>

## 連結貸借対照表 主要項目変動要因(前期末比)

### 1. 資産の部 主な変動要因

- ① 現預金 +33百万円
  - ・フィスコ新規借入 (+80百万円)
  - ・フィスコ/シグマ社有価証券売却収入 (+34百万円)
  - ・フィスコ/シグマ社借入金返済 (△63百万円)
  
- ② 投資有価証券 △29百万円
  - ・シグマ社有価証券の売却 (△25百万円)
  
- ③ 差入保証金 △18百万円
  - ・シグマ社旧事務所に係る敷金の減少 (△18百万円)

## 連結貸借対照表 主要項目変動要因(前期末比)

### 2. 負債の部 主な変動要因

- ① 借入金返済(短期・長期) +16百万円
  - ・フィスコ新規借入(+80百万円)
  - ・フィスコ/シグマ社借入金返済(△63百万円)

### 3. 純資産の部 主な変動要因

- ① 利益剰余金 △16百万円
  - ・四半期純損失の計上(△16百万円)
- ② その他有価証券評価差額金 △9百万円
  - ・投資有価証券売却に伴う損失が実現(△9百万円)

## 2009年度通期連結業績予想について(修正の概要)

### 1. 修正内容

(単位:百万円)

	2009年12月期 修正後	2009年12月期 修正前	増減額	増減率
売上高	1,052	1,209	△157	-13.0%
営業利益	9	53	△44	-83.1%
経常利益	6	50	△43	-86.3%
当期純利益	△4	32	△37	-
1株当たり当期純利益	△134円31銭	997円42銭	-	-

### 2. 修正の主な理由

1. 国内外の金融機関におけるコスト削減の継続懸念  
・リアルタイムサービス、シグマ社における教育事業等が影響。
2. 当第2四半期連結累計期間における特別損失発生

 **営業、経常利益の確保にグループ全社を挙げて注力。**